

大阪府立弥生文化博物館 平成22年度春季企画展
大阪府立弥生文化博物館・泉大津市・和泉市協働企画

いずみの高殿発掘 15年

弥生

やよいちょうかん

鳥瞰

池上曾根に生きた人びと

平成22年

5月22日(土)



7月4日(日)

Illustrated by Osawa

主催：泉大津市教育委員会
和泉市教育委員会
大阪府立弥生文化博物館

<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

 大阪府立弥生文化博物館

〒594-0083 大阪府和泉市池上町4丁目8-27

TEL.0725-46-2162

弥生鳥瞰

池上曾根に生きた人びと

平成七年六月、史跡池上曾根遺跡での大型建物発見の第一報は全国を席巻し、それ以後の弥生時代研究を大きく変えていきました。この建物の柱の一本が、年輪年代測定法により紀元前五十二年に伐採されたものであることがわかり、弥生時代中期の実年代にひとつの定点を与えたのです。その成果は、日本の古代史のみならず、東アジア史全体をめぐる議論に一石を投じるものとなりました。

本年は大型建物が発見されて十五年目という記念の年に当たります。改めて池上曾根遺跡の大型建物とその周辺を見つめ、そこに生きた人びとの暮らしのあとをたどりたいと思います。

○考古学セミナー

6月12日(土)「いずみの高殿・紀元前52年の世界」

乾 哲也(和泉市教育委員会)

場所: 1階ホール / 時間: 午後2時~4時

定員: 170名(申込不要 先着順)

(午後0時30分から整理券配布、受付は午後1時30分から)

○特別講演会

6月19日(土)「池上曾根遺跡が変えた日本史」

禰亘田 佳男(文化庁主任文化財調査官)

講演後、金関 忍(当館館長)との対談

場所: 1階ホール / 時間: 午後2時~4時

定員: 170名(申込不要 先着順)

(午後0時30分から整理券配布、受付は午後1時30分から)

○関連事業

「建築家の視点 - 池上曾根遺跡のタテモノ - 」

1 5月22日(土)「復元建物をみる」西尾 信廣(京都環境計画研究所)

集合 池上曾根弥生情報館・史跡公園の復元建物 ~ 解散 大阪府立弥生文化博物館

2 5月29日(土)「池上曾根遺跡の施設をみる」吉羽 逸郎(建築家)

集合 池上曾根弥生学習館・池上曾根弥生情報館 ~ 解散 大阪府立弥生文化博物館

3 6月5日(土)「式内社をみる」東野 良平(建築史家・泉大津市文化財保護審議会委員)

集合 大阪府立弥生文化博物館・曾根神社 ~ 解散 泉六師神社

集合時間はいずれも午後1時 / 申込不要

※本事業に関するお問い合わせは泉大津市教育委員会生涯学習課まで TEL.0725-33-1131(内2325)

右: 弥生時代最大級の勾玉(弥生時代前期 / 池上曾根遺跡 / 大阪府教育委員会)



いずみの高殿

(復元された大型建物)

建物が描かれた土器

(弥生時代中期 / 和泉市教育委員会)

大阪府立弥生文化博物館

Museum of Yayoi Culture

開館時間 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日

入館料 一般400円、65歳以上・高大生300円

中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方と

その介助者1名は無料(20名様以上の団体は2割引)



ACCESS



JR 阪和線「信太山」駅下車西へ約600m
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約1,500m

【大阪方面からお越しの場合】
JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、鳳(はとり)駅で普通電車にお乗換えください。
大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」をご利用になると便利です。
鳳から3駅目が信太山(のたけ)駅です。



国道26号線「池上町」交差点南西角
P普通車72台(無料)

〒594-0083 大阪府和泉市池上町4丁目8-27 TEL.0725-46-2162

<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>



鳥形木製品
(弥生時代中期 / 当館)

エピソード

「よみがえる「いずみの高殿」
大型建物を復元する」

紀元前52年の世界
大型建物を科学する

「プロローグ
教科書の中の池上曾根
大型建物以前
姿をあらわした「いずみの高殿」
大型建物を調査する」

展示構成

大型建物の柱
(弥生時代中期 / 和泉市教育委員会)